

建通新聞 全国ニュース

全国33紙 読者数74万
北海道から沖縄まで
地方の建設業界と共に歩む

「地方建設専門紙の会」
http://www.senmonshi.com/

【編集部】ご意見・ご感想をお待ちしています
hensyu@kentsu.co.jp
03-5425-2070 03-5425-2075
電子版・SNSでも最新情報を発信しています
https://www.kentsu.co.jp/ X (@kentsunews)

日建協

「産後八ヶ月育休」促進へ 技術者の一時交代求める

建設業のホワイト化の一環として、産後八ヶ月育休を現場の技術者が利用できるように、有期の一時交代を認める運用を求めている。4月25日の国土交通省を皮切りに、6月にかけて全国の各地方整備局など意見交換する。

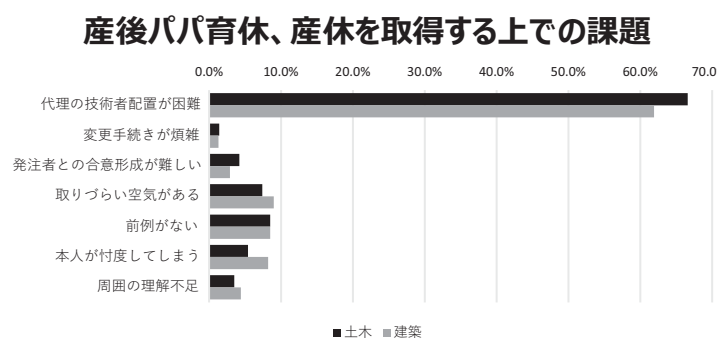
産後八ヶ月育休は、育児と現場の両立を促進するための制度で、育児休業法の改正により、22年に創設された。日建協が組合員を皮切りに、6月にかけて全国の各地方整備局など意見交換する。

産後八ヶ月育休は、育児と現場の両立を促進するための制度で、育児休業法の改正により、22年に創設された。日建協が組合員を皮切りに、6月にかけて全国の各地方整備局など意見交換する。

新会長に今井氏内定 6月総会で正式決定

全建 新会長に今井氏内定 6月総会で正式決定

全建建設業協会(全建)は、奥村太典氏が退任し、今井氏に新会長に内定した。東建は今井氏の後任に奥村氏を推薦し、今井氏は奥村氏に代わり、全建の会長に就任する見込み。今井氏は、6月に予定している総会で正式に就任する見込み。今井氏は、6月に予定している総会で正式に就任する見込み。



産後八ヶ月育休、産休を取得する上での課題

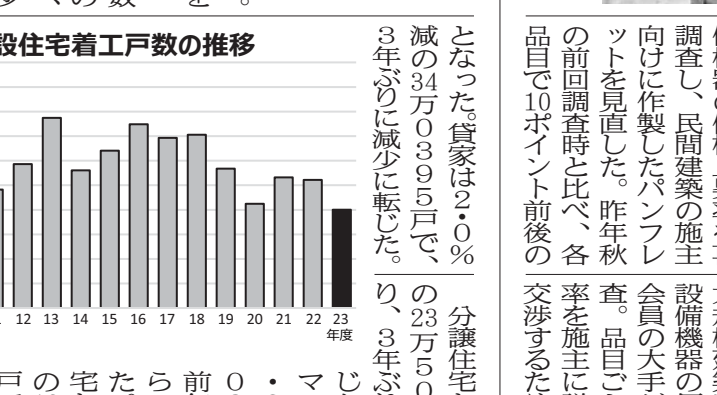
代理の技術者配置が困難
変更手続きが煩雑
発注者との合意形成が難しい
取りづらい空気がある
前例がない
本人が付度して不足
周囲の理解不足

奥村氏は、東建の会長を2020年5月から務めていた。2023年度は、東建の会長を2020年5月から務めていた。2023年度は、東建の会長を2020年5月から務めていた。

「地域を守る投資、訴えるべき」

全建の奥村会長は、新会長に内定した今井氏に、東建の会長を2020年5月から務めていた。2023年度は、東建の会長を2020年5月から務めていた。

国土交通省がまとめた「マンション」後の住宅市場は、持ち家が11.5%減の19.6%だった。リーマンに、持ち家が11.5%減の19.6%だった。リーマンに、持ち家が11.5%減の19.6%だった。



23年度住宅着工は80万戸、14年ぶりの低水準に

国土交通省がまとめた「マンション」後の住宅市場は、持ち家が11.5%減の19.6%だった。リーマンに、持ち家が11.5%減の19.6%だった。リーマンに、持ち家が11.5%減の19.6%だった。

「価格転嫁は進んでいない」
建設業法改正に期待感

建設業法改正に期待感

建設業法改正に期待感

薄氷の第一歩 残業規制始まる

この4月から時間外労働規制が適用されたのは、建設業界だけではない。物流分野もまた、規制適用に伴い、働き方の大きな見直しを迫られている。ダンブトラックやコンクリートミキサー車をはじめ、建設現場に欠かせない資材運搬も影響を受けている。資材を運ぶ「着荷主」である建設業に何ができて、何が求められているのか。

大規模な工事現場の付近で、ダンブトラックを積んだトラックが路上駐車しているのを見かけることは少なくない。現場に入場したトラックも、資材の搬入時間が長くなっており、荷主の呼び出しがなかったり、荷主の呼び出しがなかったり、荷主の呼び出しがなかったり。

もう一つの2024年問題 資材が定時に届かない

もう一つの2024年問題 資材が定時に届かない

搬送コストがかさみ、資材価格が上昇する可能性がある。搬送コストがかさみ、資材価格が上昇する可能性がある。搬送コストがかさみ、資材価格が上昇する可能性がある。

30分以上の荷待ち時間が生じた件数

加工食品	10.2%
建築・建設用金属製品	9.0%
紙・パルプ	8.7%
飲料・酒	8.4%
生鮮食品	7.2%
鉄鋼厚板・金属薄板等金属	4.7%
セメント・コンクリート	4.3%
日用品	3.6%
米・麦・穀物	2.5%
プラスチック部品・加工品等	2.4%
その他	38.9%

3月10カ月連続で減少

国土交通省がまとめた「マンション」後の住宅市場は、持ち家が11.5%減の19.6%だった。リーマンに、持ち家が11.5%減の19.6%だった。リーマンに、持ち家が11.5%減の19.6%だった。

大阪府西区に開設

大阪府西区に開設

大阪府西区に開設

「価格転嫁は進んでいない」
建設業法改正に期待感

建設業法改正に期待感

建設業法改正に期待感

建設業法改正に期待感

建設業法改正に期待感

建設業法改正に期待感

この4月から時間外労働規制が適用されたのは、建設業界だけではない。物流分野もまた、規制適用に伴い、働き方の大きな見直しを迫られている。ダンブトラックやコンクリートミキサー車をはじめ、建設現場に欠かせない資材運搬も影響を受けている。資材を運ぶ「着荷主」である建設業に何ができて、何が求められているのか。

大規模な工事現場の付近で、ダンブトラックを積んだトラックが路上駐車しているのを見かけることは少なくない。現場に入場したトラックも、資材の搬入時間が長くなっており、荷主の呼び出しがなかったり、荷主の呼び出しがなかったり、荷主の呼び出しがなかったり。

もう一つの2024年問題 資材が定時に届かない

搬送コストがかさみ、資材価格が上昇する可能性がある。搬送コストがかさみ、資材価格が上昇する可能性がある。搬送コストがかさみ、資材価格が上昇する可能性がある。

30分以上の荷待ち時間が生じた件数

加工食品	10.2%
建築・建設用金属製品	9.0%
紙・パルプ	8.7%
飲料・酒	8.4%
生鮮食品	7.2%
鉄鋼厚板・金属薄板等金属	4.7%
セメント・コンクリート	4.3%
日用品	3.6%
米・麦・穀物	2.5%
プラスチック部品・加工品等	2.4%
その他	38.9%

3月10カ月連続で減少

国土交通省がまとめた「マンション」後の住宅市場は、持ち家が11.5%減の19.6%だった。リーマンに、持ち家が11.5%減の19.6%だった。リーマンに、持ち家が11.5%減の19.6%だった。

大阪府西区に開設

大阪府西区に開設

大阪府西区に開設

大阪府西区に開設

日本セイフティー 取り扱いを開始 伸縮コーンバー

建設現場がある研修施設 大阪府西区に開設

建設現場がある研修施設 大阪府西区に開設

点検表をペーパーレス化 「GENBA X点検」を提供

点検表をペーパーレス化 「GENBA X点検」を提供

レンタルのニッケン ユーザー4.3万人突破 オンラインレンタル

レンタルのニッケン ユーザー4.3万人突破 オンラインレンタル